



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月1日

上場会社名 株式会社ハチバン 上場取引所 東  
 コード番号 9950 URL https://www.hachiban.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長丸 昌功  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 舟山 忠彦 TEL 076-292-0888  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月2日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年3月21日～2021年9月20日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,860	5.9	2,620	6.1	△225	—	△44	—	△66	—
2021年3月期第2四半期	2,699	△38.1	2,470	△38.7	△460	—	△355	—	△379	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △78百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △380百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△22.88	—
2021年3月期第2四半期	△129.88	—

(注) 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	5,136	3,285	64.0
2021年3月期	5,330	3,388	63.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 3,285百万円 2021年3月期 3,388百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	10.00			
2022年3月期（予想）			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	3.5	5,500	3.6	△275	—	△95	—	△125	—	△42.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	3,068,111株	2021年3月期	3,068,111株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	144,840株	2021年3月期	146,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	2,922,534株	2021年3月期2Q	2,921,823株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」および「従業員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発出され、対象地域での消費動向が落ち込んでおり、ワクチン接種は進んでいるものの、景気の見通しは依然として予断を許さない状況が続いております。

外食産業におきましては、政府や自治体からの感染拡大防止のための営業時間短縮要請および酒類の提供自粛要請等の影響により、極めて厳しい経営環境が続いております。

このような状況においても、当社グループはお客様に安心してご来店いただき、ご満足いただけるよう「食の安全・安心」、QSC（品質・サービス・清潔）の徹底に努め、引き続き飛沫感染防止のアクリル仕切り板の設置、店内消毒、従業員の検温・手洗いの徹底など、様々な新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施するとともに、テイクアウト商品の充実などお客様のニーズを積極的に取り込みながら事業活動を行ってまいりました。

店舗数は、国内では新規出店が1店舗（直営店）、直営店から加盟店への転換が2店舗、海外では新規出店が6店舗、閉店が1店舗あり、合計283店舗（前連結会計年度末比6店舗増）となっております。その内訳は、国内店舗では、らーめん店舗117店舗、和食店舗9店舗、その他外食6店舗（合計132店舗）、海外店舗は151店舗であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,620百万円（前年同期比6.1%増）、営業収益（売上高と営業収入の合計）は2,860百万円（同5.9%増）となりました。また、営業損失は225百万円（前年同期営業損失460百万円）、経常損失は44百万円（前年同期経常損失355百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は66百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失379百万円）となりました。

なお、自治体の要請に基づく感染拡大防止のための営業時間短縮に対する協力金収入148百万円は、営業外収益に計上しております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

### ①外食事業

外食事業では、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等により、営業時間の短縮や酒類の提供自粛を余儀なくされましたが、このような状況においても各部門が次のとおり業績の回復に努めております。

8番らーめんフランチャイズチェーンの国内展開を主とするらーめん部門では、既存店へのドライブスルーの設置推進に加え、一部店舗でデリバリーサービスを利用するなど、テイクアウト商品の利便性を高めております。また、好評いただいている期間限定商品「海老餃子」の販売期間を延長するとともに、「野菜麻辣らーめん」や「野菜トマトらーめん」などを限定販売し、来店客数の回復に努めております。

和食料理店を展開する和食部門では、「おうちで居酒屋」など新たなテイクアウト商品を開発するほか、デリバリーサービスの利用を開始し、テイクアウト販売へのさらなる注力を行っております。また、和カフェ「八兆菓寮」や炭火焼きなど新たな営業スタイルを開発し、アフターコロナにつながる取り組みを進めております。

らーめん・和食部門以外では、旬の地元食材を使用した「おうちで団らんオードブル」や「まっとうトマト氷冷麺」を販売したほか、キッチンカー「おいもとレモネード」を開店し、石川県内での販売をスタートさせました。

以上の結果、外食事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,248百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は188百万円（前年同期セグメント損失178百万円）となりました。

### ②外販事業

外販事業では、「8番らーめん」ブランドを活用し、より付加価値のある商品の開発と提案を行っております。地元スーパーマーケット、国内各地の生活協同組合、量販店への卸販売のほか、ネット通販の強化をはじめとした中食・内食需要への取り組みを継続しております。また、当社監修のカップラーメン「野菜らーめん 塩」や8番らーめんコラボTシャツを販売し多くの反響を呼びました。

以上の結果、外販事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は350百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は12百万円（同43.8%減）となりました。

### ③海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンの海外展開は、タイでは新規出店5店舗と閉店1店舗があり143店舗、香港では新規出店1店舗があり7店舗、ベトナムでは1店舗の運営を行っております。これら海外店舗も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業や店内飲食の制限により大きな影響を受けましたが、新規感染者数の減少により営業に対する規制の緩和が進みつつあり、売上高回復の兆しを見せております。

また、液体調味料の製造・販売については、加工食品メーカー向けの売上が堅調となっております。

以上の結果、海外事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は261百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は61百万円（同3.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少して5,136百万円（前連結会計年度末比3.6%減）となりました。これは主に、現金及び預金が85百万円、有形固定資産が76百万円、差入保証金が31百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少して1,851百万円（前連結会計年度末比4.7%減）となりました。これは主に、長期借入金が55百万円、買掛金が28百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少して3,285百万円（前連結会計年度末比3.1%減）となりました。これは主に、利益剰余金が96百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの状況および今後の見通し等を勘案したうえで、2021年7月30日に「2022年3月期第2四半期累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,306,385	1,221,284
売掛金	453,976	506,349
商品及び製品	154,039	140,364
原材料及び貯蔵品	19,373	19,222
その他	196,655	193,741
流動資産合計	2,130,430	2,080,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	702,224	668,938
機械装置及び運搬具(純額)	317,106	292,889
工具、器具及び備品(純額)	130,497	111,242
土地	1,068,232	1,068,232
建設仮勘定	—	433
有形固定資産合計	2,218,060	2,141,735
無形固定資産	90,540	82,038
投資その他の資産		
投資有価証券	231,154	221,307
長期貸付金	22,464	19,584
関係会社出資金	59,920	59,920
差入保証金	294,823	263,119
保険積立金	68,865	69,249
繰延税金資産	210,662	194,509
その他	22,884	23,182
貸倒引当金	△19,003	△18,711
投資その他の資産合計	891,770	832,160
固定資産合計	3,200,372	3,055,934
資産合計	5,330,802	5,136,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	243,323	215,130
短期借入金	610,084	610,084
未払法人税等	19,232	21,504
賞与引当金	96,625	93,406
未払費用	251,655	233,913
店舗閉鎖損失引当金	1,920	—
その他	46,768	49,580
流動負債合計	1,269,608	1,223,619
固定負債		
長期借入金	384,616	329,574
長期末払金	63,180	63,180
長期預り保証金	155,447	157,167
役員株式給付引当金	44,071	48,262
従業員株式給付引当金	20,217	24,616
その他	4,737	5,164
固定負債合計	672,270	627,965
負債合計	1,941,879	1,851,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,093,426	1,093,426
利益剰余金	1,233,092	1,136,572
自己株式	△451,117	△446,625
株主資本合計	3,393,855	3,301,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,960	△15,543
為替換算調整勘定	△974	△974
その他の包括利益累計額合計	△4,935	△16,518
非支配株主持分	2	2
純資産合計	3,388,923	3,285,312
負債純資産合計	5,330,802	5,136,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
売上高	2,470,373	2,620,155
売上原価	1,515,655	1,605,642
売上総利益	954,717	1,014,512
営業収入	229,566	240,307
営業総利益	1,184,284	1,254,820
販売費及び一般管理費		
運賃	133,096	134,569
役員報酬	54,413	59,445
給料及び手当	611,614	509,094
賞与引当金繰入額	90,798	82,069
役員株式給付引当金繰入額	8,613	7,821
従業員株式給付引当金繰入額	4,853	4,664
退職給付費用	17,099	15,753
地代家賃	146,462	138,612
水道光熱費	65,191	60,128
減価償却費	75,836	59,800
その他	436,538	407,951
販売費及び一般管理費合計	1,644,517	1,479,910
営業損失(△)	△460,232	△225,090
営業外収益		
受取利息	494	367
受取配当金	47,271	25,225
受取地代家賃	23,044	32,111
為替差益	744	—
持分法による投資利益	618	6,809
雇用調整助成金	48,487	—
協力金収入	—	148,379
その他	6,914	10,748
営業外収益合計	127,575	223,640
営業外費用		
支払利息	918	2,167
貸貸費用	21,633	30,859
為替差損	—	7,307
その他	13	2,523
営業外費用合計	22,565	42,858
経常損失(△)	△355,222	△44,307
特別利益		
固定資産売却益	—	5,701
特別利益合計	—	5,701
特別損失		
固定資産除却損	27	60
減損損失	148,739	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	23,344	—
特別損失合計	172,110	60
税金等調整前四半期純損失(△)	△527,333	△38,666
法人税、住民税及び事業税	9,000	7,000
法人税等調整額	△156,858	21,195
法人税等合計	△147,858	28,195
四半期純損失(△)	△379,475	△66,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△379,475	△66,862



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
四半期純損失(△)	△379,475	△66,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,065	△11,582
為替換算調整勘定	△5,429	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,395	0
その他の包括利益合計	△759	△11,582
四半期包括利益	△380,234	△78,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△380,234	△78,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、2018年6月14日開催の第48期定時株主総会決議に基づいて導入された、当社取締役（社外取締役を除く。以下同じ。）及び執行役員（委任型）（以下総称して「取締役等」という。）対象の株式報酬制度「役員向け株式交付信託」（以下「本制度」という。）について、2021年6月17日開催の取締役会で本制度の継続と信託期間3年間の延長を決定しました。

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される株式報酬制度であります。取締役等に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理を行います。なお、取締役等が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時であります。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）を適用し、当社から信託へ自己株式を処分した時点で処分差額を認識し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を貸借対照表に計上しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式は、純資産の部に自己株式として表示しており、前連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は62,700千円、株式数は19,000株であり、当第2四半期連結累計期間末の当該自己株式の帳簿価額は59,070千円、株式数は17,900株であります。

(従業員向け株式交付信託について)

当社は、2020年1月30日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を交付するインセンティブプラン「従業員向け株式交付信託」制度（以下「本制度」という。）を導入しました。

本制度は、予め当社が定めた従業員株式交付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を交付する仕組みで、従業員に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権の取得をしたときに当該付与ポイントに相当する当社株式を交付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理を行います。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）を適用し、当社から信託へ自己株式を処分した時点で処分差額を認識し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を貸借対照表に計上しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式は、純資産の部に自己株式として表示しており、前連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は77,688千円、株式数は24,900株であり、当第2四半期連結累計期間末の当該自己株式の帳簿価額は76,440千円、株式数は24,500株であります。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書に記載した「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて」中の会計上の見積りおよび当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月21日至2020年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	2,070,924	370,046	258,969	2,699,939	—	2,699,939
セグメント間の内部営業収益又は振替高	209,343	7,363	21,732	238,440	△238,440	—
計	2,280,267	377,410	280,701	2,938,379	△238,440	2,699,939
セグメント利益又は損失(△)	△178,621	22,391	59,727	△96,502	△258,719	△355,222

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△258,719千円には、各セグメント間取引消去718千円、各セグメントに配分していない全社費用△259,438千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、閉店した1店舗および閉店が予定されている3店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失148,739千円を特別損失に計上しました。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月21日至2021年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	2,248,111	350,536	261,815	2,860,463	—	2,860,463
セグメント間の内部営業収益又は振替高	246,178	11,047	24,043	281,269	△281,269	—
計	2,494,289	361,583	285,859	3,141,732	△281,269	2,860,463
セグメント利益	188,770	12,574	61,999	263,344	△307,652	△44,307

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△307,652千円には、各セグメント間取引消去332千円、各セグメントに配分していない全社費用△307,984千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。